

双葉西小だより

令和6年 12月18日 文責 校長



充実した



冬休み

冬休みは、学校生活とは少し違った楽しみ方ができる特別な時間です。この期間、児童には冬休みだからできることに挑戦してほしいと考えます。参考までにいくつか挙げます。

○読書。空想の世界に浸るのも良いですね。

○運動。家にこもってゲーム三昧ではなく、外で体を動かすことをお勧めします。雪が降ったら雪遊びもいいかもしれません。

○家族の団らん。家族と一緒にゲームをしたりくつろいだりして、家族の絆を深めてください。

○趣味。自分が楽しめることに没頭する（ゲームのことではありません）。新しい発見や達成感を味わうことができます。

冬休みは、学校とは違う経験をすることで、また違う成長が期待できます。この冬休み、それぞれにとって充実した時間を過ごせますことを願います。

児童会役員選挙

R7年度の児童会役員を決める立会演説会と投票・開票が行われました。どの立候補者も立派に演説でき、頼もしく感じました。



スケート教室

4年生が小瀬スポーツ公園アイスアリーナでスケートを体験しました。一日でスケート技術が上達し、学校に戻ってきました。

双葉お祭りごっこ

児童会活動として計画した「お祭りごっこ」。縦割り班全員で役割を受け持ち、交代しながら、各ゲームを楽しみました。



通信票「あゆみ」のトリセツ

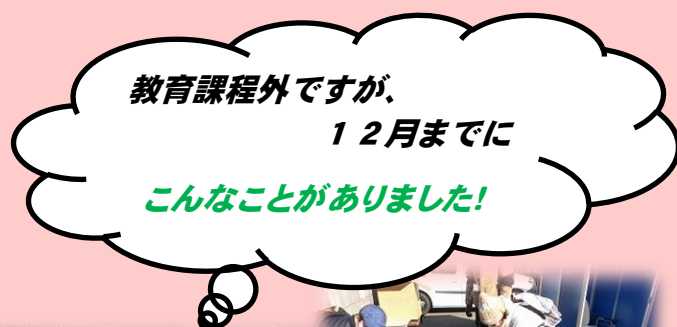
児童の日々の成長を見守り、御支援いただき、誠にありがとうございます。2学期最終日には担任より通信票「あゆみ」が渡されます。この通信票が児童の成長をさらに促すために、いくつかのポイントを示します。

お子様が高い成果を達成するためには、教職員と保護者が協力し、一貫したポジティブな期待を持つことが重要です。これは「ピグマリオン効果」と呼ばれ、周囲の高い期待が子ども自身に良い影響を与えるというものです。児童に、「できる」「成長している」という信頼と期待を持って接することで、高い目標に向かって努力するようになります。

具体的な対応としては、

- ①2学期の活動を振り返る中で、児童が努力したことに対して、具体的に褒めてください。自信が次への意欲喚起につながります。
- ②課題と感じられるものも、0からのスタート（できないこと、わからないことから始まっています）、そこからの進歩と捉え、どうすれば更なる成長が期待できるかを考えさせてみてください（もしくは、児童と一緒に具体的な目標を設定してみてください）。
- ③児童には1学期より継続して「努力のつぼ」の話をしています。一步ずつの地道な努力がいつの日かつぼをあふれさせます。是非、励ましてあげてください。

以上の点を心がけていただくことで、児童の成長と学びがさらに豊かになることを期待しております。今後とも御協力をお願いいたします。



交通安全こども自転車大会に5年生代表4名が参加し、4位に輝きました。講義や自転車練習には双葉安協、安全指導部の方にも支援をいただきました。



本校のコミュニティ・スクールに関わり、「市長との座談会」「長野県塩尻市教育委員会視察」「山梨県教育センター講義(発表)」が行われました。



「おやじの会」主催で、5・6年希望者を対象に防災学習が行われました。甲斐市防災危機管理課、双葉消防第二分団、県防災安全センターにも支援をしていただきました。



児童の様子は、毎日ブログに掲載しています。

URL (下をクリック)

<https://www.city-kai.ed.jp/fnsho/>